



『捉える、応える、超えてゆく』

「平成30年度産業廃棄物処理業の振興方策に
係る普及啓発シンポジウム」

グッドホールディングスグループ 成長戦略としてのCSR

2019年2月6日
グッドホールディングス株式会社
代表取締役社長 赤澤 健一
<http://www.goodhd.co.jp>

欧州委員会ホワイトペーパー（2002年）

責任ある行動が持続可能なビジネスの成功につながるという認識を企業が持ち、社会や環境に関する問題意識を、その事業活動やステークホルダーとの関係のなかに、自主的に取り入れていくための概念。

BSR（Business for Social Responsibility）：アメリカ

CSRとは、社会が企業に対して抱く、倫理的、法律的、商業的、かつ公共的な期待に応え、あるいはそれを上回る方法で、事業を展開して行くこと。

経済産業省産業技術環境局

法律遵守にとどまらず、企業自ら、市民、地域及び社会を利するような形で、経済、環境、社会問題において、バランスのとれたアプローチを行うことにより事業を成功させること。

経済同友会

「社会的責任経営」とは、さまざまなステークホルダーを視野に入れながら、企業と社会の利益を高い次元で調和させ、企業と社会の相乗発展をはかる経営のあり方。CSRは単に社会貢献やコンプライアンスのレベルにとどまらず、事業の中核に位置づけるべき投資であり、将来の競争優位を獲得しようという能動的な挑戦。



フィランソロピー

慈善的な目的を援助するため、金銭、物品、時間、労力をささげる行為このことである。意味的には「チャリティー」に近く、従来日本語では「慈善活動」「博愛」「人類愛」などとも呼んできた。特定の事業のために、長い年月をかけて労力や資金を支援するようなこと。より基本的な意味では、フィランソロピーとはよいものを広めたり、人生の質を高めたりすることを目的とした、利他的・奉仕的な活動全般を指す。フィランソロピーは美術・音楽・宗教・人道主義活動や、教育活動（地域の学校から大学まで）の主要な財源となっている。

メセナ

企業が資金を提供して文化、芸術活動を支援することである。代表的なものに財団などを通じた資金的バックアップや、企業が主催するコンサートやオペラの公演、スポーツなど各種イベントの開催などがある。

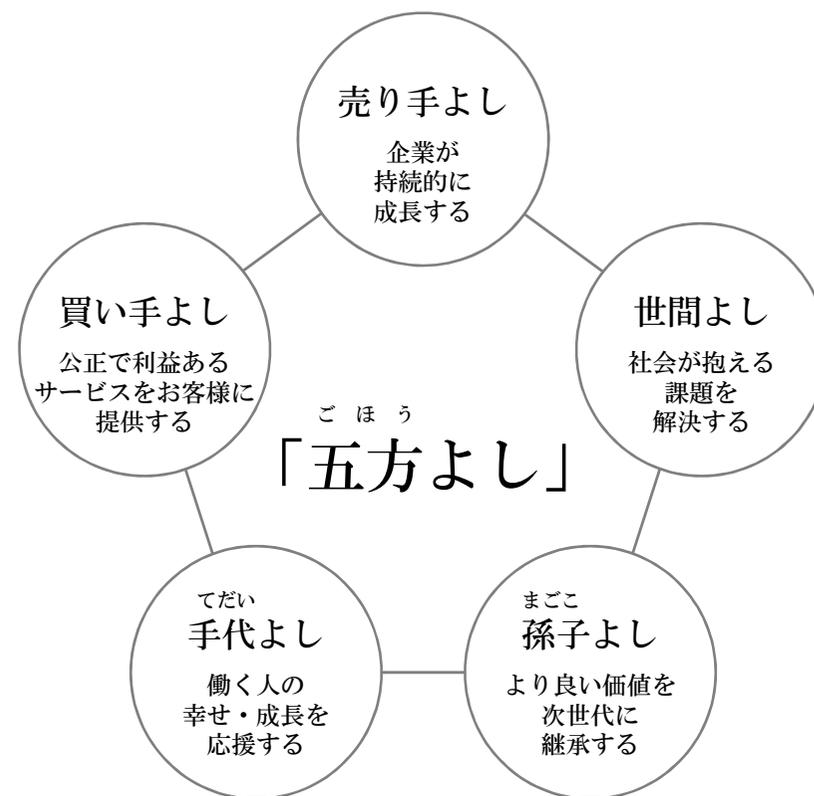
当グループは、企業の社会的責任を経営の根本においています。責任とは、ステークホルダー、すなわち“人”と向き合う姿勢であると考えています。

公正で利益あるサービスをお客様に提供し（買い手よし）、その結果として、社会が抱える課題を解決する（世間よし）。そして、この活動が継続できるだけの安定的な基盤を構築する（売り手よし）。当グループではこのサイクルを「事業」と呼んでいます。

また、事業を立ち上げ、成長させていくのは当グループで働く人であり、彼らの幸せ・成長を応援することが、買い手よしー世間よしー売り手よしのサイクルには必要不可欠と考えています（手代よし）。

さらに現時点だけが良いということでは、社会的責任とはいえません。子や孫の世代までより良い価値を継承していくという視点も大切だと考えています（孫子よし）。

これらの思いを「五方よし」という言葉に込めています。





グッドホールディングスグループ

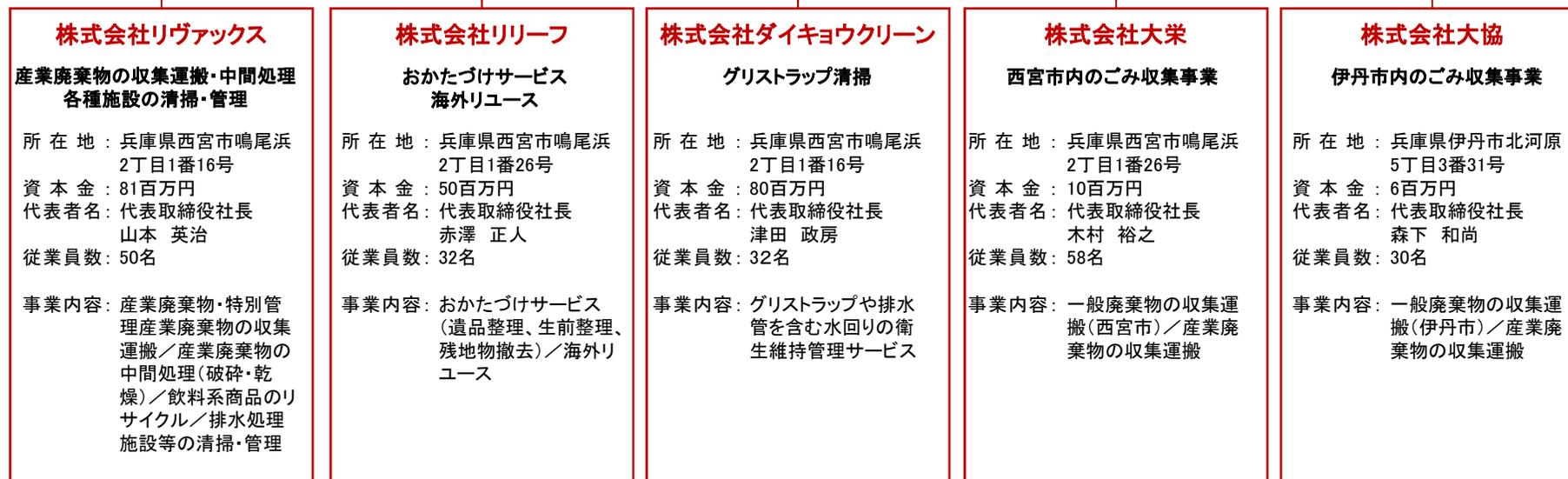


グッドホールディングス株式会社

所在地：兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番16号
 創業：1960年
 資本金：77百万円
 代表者名：代表取締役社長 赤澤健一
 従業員数：11名
 事業内容：グループ財務・経理・人事・労務・広報、経営支援及び総合戦略の策定

各社とも
 決算期3月末

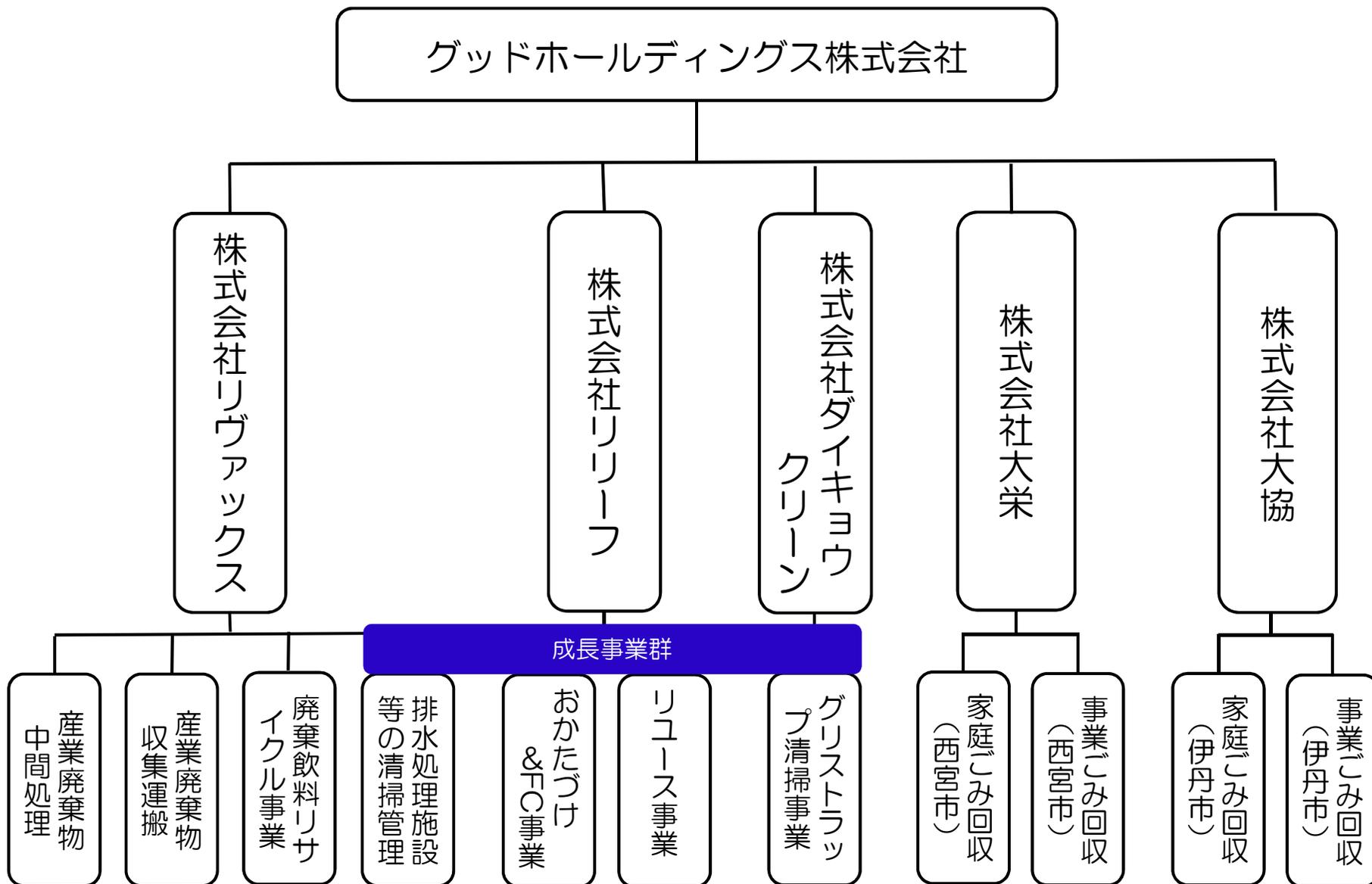
※全て100%子会社



成長事業群

グループ従業員数：213人※1
 (女性比率15.2%)

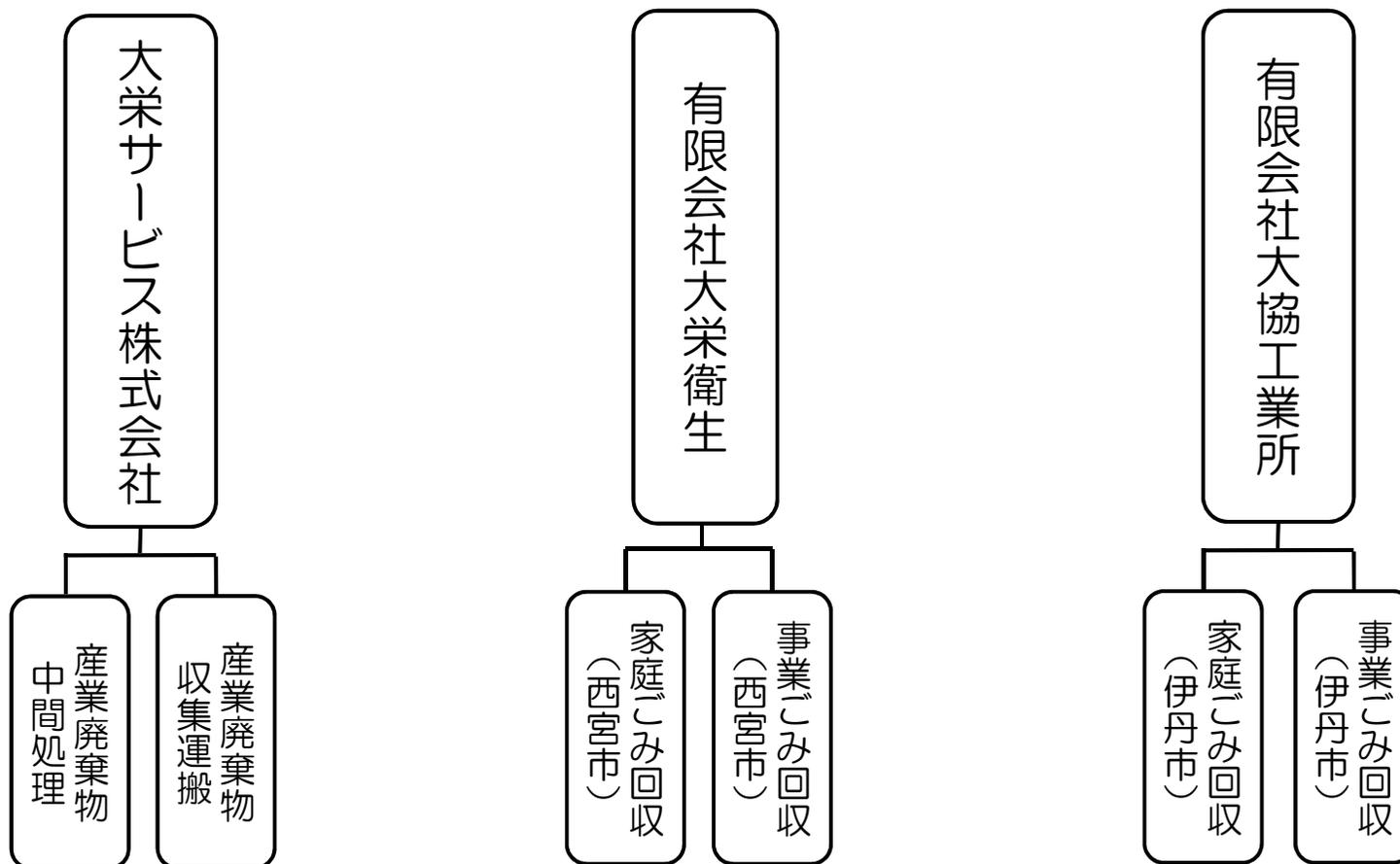
2018年4月1日現在 ※1 従業員数は常用雇用者(社会保険負担をしている者:従業員兼務役員除く)の数





GOOD
HOLDINGS

事業基盤の強化へ (2000年～)



2000年頃の事業モデル

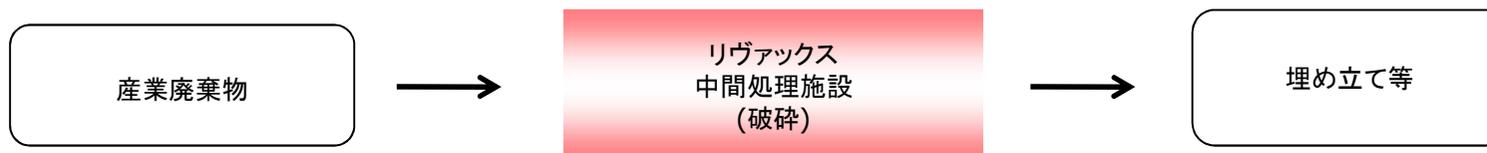
1 大栄・大協・・・ 西宮・伊丹市内での家庭ごみ、事業系一般廃棄物の収集運搬



2 リヴァックス

①産業廃棄物の中間処理

・廃プラスチック等の破碎(20ton未満/日)



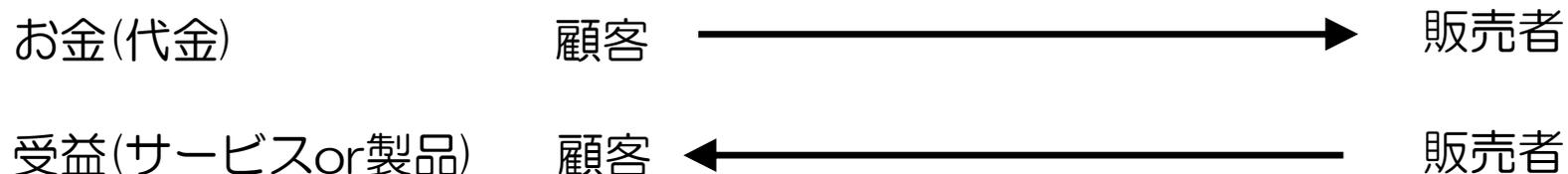
②産業廃棄物の収集運搬,アライアンス

アライアンス : 産業廃棄物の品目や性状により
最適な処理方法(アライアンス先)を提案

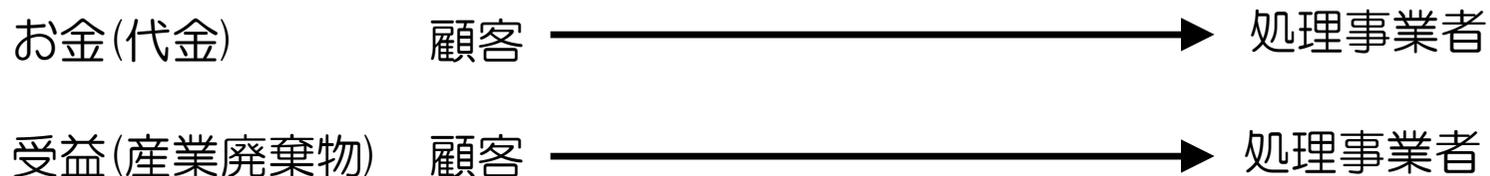


約50社の廃棄物処理・
リサイクル先
『捉える、応える、超えていく』

【通常のビジネスにおけるお金とモノの流れ】



【廃棄物処理業のお金とモノの流れ】



※顧客から見た場合、受益を受けるサービス(廃棄物処理)の品質で他社との比較が難しい。更に相手に引き渡すだけなので、他社に切り替えるスイッチングコストが低く、簡単に替えられる可能性が高い。

⇒ (比較)優位性の高いビジネスモデルの構築が必要

廃棄物処理業としての経営戦略

- 産業廃棄物処理業は産業界の社会基盤
- 一般廃棄物処理業は地域の市民生活や中小事業者の社会基盤

安心・信頼される廃棄物処理事業者とは？

仕組みづくり

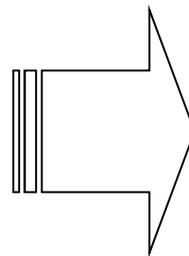
- 法令遵守
- 組織統治(ガバナンス)
- 環境保全の取り組み
- 情報公開(説明責任)
- 地域(社会)関係の構築
- 適正利益の確保

人材の育成

- 学ぶ機会の提供(NPOとの協働事業、研修等)
- 活躍の機会の提供
- 安心して働ける職場
- 経営情報の共有
- 経営への参画

密接に関わり合い

- 良質な組織運営
- 良質な売上
- 良質な利益



健全で持続可能な事業の構築
 →(比較)競争優位性の獲得
 →参入障壁の高い(新規)事業の創造
 →CSR(企業の社会的責任)経営



GOOD
HOLDINGS

経営戦略(比較競争優位性の確立と参入障壁の創造)

□ 競争戦略

• 差別化戦略

⇒ブランドの確立(インナーブランディング and アウターブランディング)

【CSR活動】 NPOとの協働、地域貢献活動、マネジメントシステム等

【情報公開】 WEBカメラ、CSR報告書発行、業績報告会、日次収支等

⇒ビジネスモデルの創造と確立

【施設】 都市部での大型産業廃棄物処理施設(乾燥・破砕・積替保管)
リユース専用倉庫、木質系バイオマスボイラー

【サービス】 廃棄商品(廃棄ジュース等)の処理

(顧客の要望) 新しい機材の導入

⇒計量器付きごみ回収車

⇒超強力吸引車、超高压洗浄車

業界やサービスが確立していない事業への参入

⇒グリストラップ清掃事業

⇒遺品整理業(+FC展開)

⇒リユース事業

} 事業の社会化・サービス産業化!

• コストリーダーシップ戦略

⇒自社施設による外注コストの内製化、特殊車両による効率化・省力化(コスト削減)

⇒『選択と集中』による重点分野での生産性の向上

□ リスクマネジメント強化

⇒法令違反、労働災害、事故等による許可停止リスクの防止

環境マネジメントシステム、労働安全衛生活動、3S活動

-差別化戦略-

⇒事業の社会化(CSRの取り組み)
(地域社会との関係の構築)
(内外に顔の見える会社へ)

-NPOとの協働による社会貢献活動-











GOOD
HOLDINGS

リサイクル企業で教員や小学生、JICA研修生等が体験学習





2003年度より兵庫県西宮市において実施されてきた『企業・学校・NPOの協働による環境学習支援プログラムの開発と学校での実践プロジェクト』の3年間の活動を紹介する本が発行されました。大栄サービス(当時)も食分科会の一員として掲載していただいております。

企業ができる
こどもたちへの
環境学習支援

Learning and Ecological Activities
Foundation for Children



第4回パートナーシップ大賞グランプリの受賞

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)主催「第4回パートナーシップ大賞」の最終選考及び授賞式が2006年11月11日に名古屋国際センターで開催され、当社がNPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)、西宮市内の企業の皆様と協働でおこなっています企業プロジェクト「企業ができることもたちへの環境学習支援事業」がグランプリを受賞しました。

関連記事は神戸新聞2006年11月15日に掲載されました。



パートナーシップ大賞・NPOと企業が協働を通じて社会にインパクトを与えた特色ある事業を表彰するものです。







GOOD
HOLDINGS

環境学習

グッドホールディングスグループでは、未来の消費者に対する教育と位置付けて、近隣地域の生徒に環境教育をおこなっています。

子どもたち一人ひとりが環境への意識を高めて、ごみの削減やリサイクルについて考える機会を大切にしています。



リヴァックス



大栄

『捉える、応える、超えていく』



2011年度から西宮市内の小学校4年生から6年生を対象に、農体験をはじめさまざまなプログラムを通して、食べ物や里山、そして自然環境の大切さを学ぶ「こども農業塾」を年4回開催しています。(2015年度から年5回開催に変更)

<主なプログラム>

- 田植え・稲刈り
- 堆肥づくり
- 野菜の植え付け・収穫
- 生き物ウォッチング
- しめ縄づくり



こども農業塾2018

環境学習都市にのみや・パートナーシッププログラム認定事業

http://agri.leaf.or.jp



2018
こども
農業塾
～米づくり・自然あそび～

甲山を望む農地で 米作りを通して自然と人、
人と人のつながりなど「生きる力」を学ぼう

- 1回目 6月3日(日) 田植え、野菜植え付け、タマネギ収穫
 - 2回目 7月29日(日) 田んぼの生きもの観察、夏野菜収穫、川遊び
 - 3回目 9月23日(日) 稲刈り、冬野菜植え付け、活動ポスター作り
 - 4回目 10月21日(日) サツマイモ収穫、カレー作り
 - 5回目 11月18日(日) 冬野菜収穫、稲わらリース作り、修了式
- ※悪天候等で中止となった場合についても返金は致しかねますのでご了承ください。

対象：小学4年生～小学6年生 全5回ご参加頂ける方
 ＊4・5回目は家族でご参加できます

定員：35名(申込多数の場合は、抽選)

参加費(全5回)：12,000円

実施場所：西宮市立甲山自然環境センター及び近隣農地

主催：  グッドホールディングス株式会社

グッドホールディングスグループは阪神間を中心とした地域のごみ処理事業を40年以上展開している会社です。「食」「農」「環境」を通じた持続可能な地域づくりが企業の社会的責任のひとつと考え「こども農業塾2018」を開催しています。「こども農業塾」では、社員がNPO法人こども環境活動支援協会と共に企画に関わり、班のリーダーとして楽しく安全に学べるプログラムをつくっています。

下記必要事項をご記入の上、
5月15日(火) 必着で、郵送またはFAXにてお申込み下さい。詳細については別途参加者にご案内します。尚、内容等についてご質問がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

申込み・お問い合わせ先(事務局)
 NPO法人 こども環境活動支援協会 (LEAF) 担当：小川
 〒662-0001 西宮市甲山町67番地
 甲山自然環境センター内
 TEL & FAX 0798-74-0263

2018 こども農業塾 申込用紙 ※ 申し込みいただいた個人情報は、本事業以外の目的に使用いたしません。

ふりがな		性別	男・女 どちらかに○を つけてください	学校 学年	小学校 年
お名前 (参加者)					
住所	〒				
電話		FAX			

社会(地域)とのコミュニケーション

- 施設見学の受け入れ(取引企業、行政、市民団体、小中学校園、JICA研修生等)
受入実績 2011年度：487名(75団体) 2012年度：530名(87団体) 2013年度：474名(72団体)
2014年度：498名(58団体) 2015年度：415名(84団体) 2016年度：425名(112団体)
2017年度：393名(75団体)
- 講演会で事業内容やCSRの取り組みを発表
- 地域清掃への参加
- NGOとの協働(こども農業塾等) 或いは単独での環境学習の実施



環境学習(施設見学)



環境学習(事前学習)



JICA研修



地域清掃



講演会



GOOD
HOLDINGS

海外での社会貢献活動(Child's Dream)



Child's Dreamの活動について

1990年代後半に計画経済から市場経済の道を歩み始めたカンボジア、ベトナム、ラオスなどメコン川流域の国々。「東南アジア諸国連合 (ASEAN)」のこれらの国々は、大きく変化する社会・経済環境の中で、確実に発展を遂げています。しかし、一方で地方との格差は急激に拡大しており、経済的不平等や内戦、政情不安などにより複雑な問題が絡み合い、いまだ深刻な人道危機が発生しています。人権侵害により十分な教育機会が与えられていない子供たちのために2003年より活動を始めた団体が「Child's Dream (チャイルド・ドリーム)」です。子供たちの医療・教育環境を改善すべくコミュニティとの協働を通して目的を達成することを目標に日々活動に取り組んでいます。



情報公開・説明責任



GOOD HOLDINGS

情報公開・説明責任

■WEBカメラ（リヴァックス）

リヴァックス施設内にウェブカメラを設置し、ホームページにてリアルタイムの映像を配信しています。

遠隔地からでも、廃棄物の搬入や処理状況をご確認いただけ、処理の透明性を実現しています。

（※一部のカメラ映像は、パスワードを設定することにより、排出事業者様の自社廃棄物処理時にのみ公開致します）



■苦情・事故

グッドホールディングスグループでは、苦情や事故が発生した場合は直ちに対応し、事実を包み隠さず外部に報告しています。

苦情・事故の内容と原因、対策については、すべて報告書に記載しています。

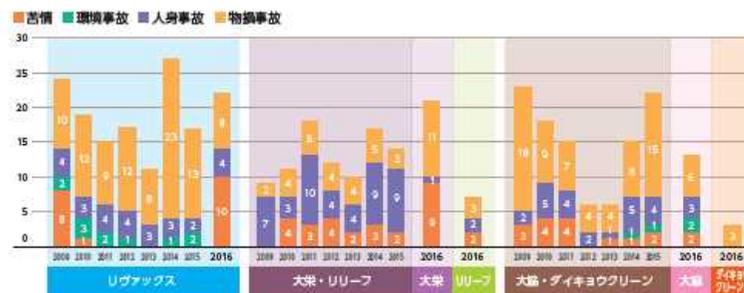
グッドホールディングスグループ
『サステナビリティレポート2018』
P.51～P.53

苦情・事故

2016年度の苦情・事故は66件(苦情23件・環境事故2件・事故41件)で、昨年度53件(苦情4件・環境事故3件・事故46件)と比較し、増加しました。

会社別に見ると、リヴァックスの苦情件数が増加しており、人為的ミスによる苦情が大半を占めました。事故等の予防につながる取り組みの結果であるため、今後も発展・継続を徹底して行います。

※2014年度～2015年度は苦情・事故はP.51～P.54に掲載しています。



詳細なデータはホームページからご覧いただけます。

■ 社内での情報共有

日次収支をはじめ、営業日報、処理施設の稼働状況、翌日の作業内容などを共有しています。他部署の活動を知ることによって、違う視点から問題点に気付いたり、関係部門が協力して解決策を考えることができます。

【業績報告会】

毎月の売上高や利益高などを報告する場を役職者だけでなく、すべての社員を対象に設けています。この業績報告会では、全社や各部門の収益状況や問題点などが報告されます。



【第8次中期経営計画発表会】

策定した戦略や目標の実現のために、社員が計画の目的や具体的な内容を共通で認識する場として、2016年3月にグループ全社員参加で行ないました。



【リヴァックス：CSR報告書】

2002年度から「環境報告書」を発行
2006年度は、社会的側面の充実を図り、タイトルを「環境・社会報告書」に変更
2007年度から、環境面・社会面・経済面を網羅した「CSR報告書」として発行
2008年度は、第三者委員会からの提言を踏まえた内容で発行

【リリーフ：CSR報告書】

2008年度から「環境・社会報告書」を発行
2009年度は、「環境・社会活動報告書」に変更
2011年度から、「CSR報告書」として発行

【大協：環境報告書】

2008年度から「環境報告書」を発行

【リヴァックスホールディングス：CSR報告書】

2015年度から統括して「CSR報告書2015」を発行

【グッドホールディングス】

2016年度に社名を変更「CSR報告書2016」を発行

【サステナビリティレポート 2018】

<http://www.goodhd.co.jp/csr/>





GOOD
HOLDINGS

受賞・顕彰歴



GOOD
HOLDINGS

第21回環境コミュニケーション大賞

「グッドホールディングスグループ サステナビリティレポート2017」が、『第21回環境コミュニケーション大賞』（主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム）の環境報告書部門において、優良賞を受賞いたしました。表彰式は、2018年2月21日(水)に品川プリンスホテルメインタワーにておこなわれました。

【報告書への講評】

循環資源産業として、事業の変遷と今後を見据えて様々な取組を分かりやすく公開している。事業の環境配慮活動について、グループ5社ごとに目標・一覧表として開示し、かつグループ全体のパフォーマンスデータを的確に経年グラフで示している。

また、巻末にグループ5社の苦情・事故等のネガティブ情報の原因と対策を詳しく掲載する等、循環型社会の一翼を担うという事業姿勢を一貫性をもって表現している。

マイナス情報も含め、データを豊富に開示し、働く人々の顔が見える報告書になっている。中長期の目標、特に気候変動対策等の記載が今後望まれる。





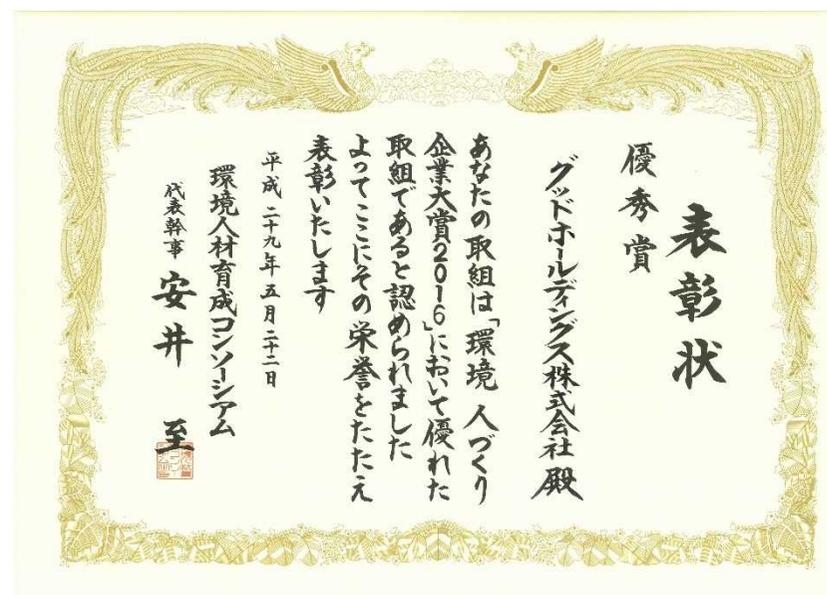
GOOD
HOLDINGS

環境 人づくり企業大賞2016

環境省及び環境人材育成コンソーシア(EcoLeaD)が主催する「環境 人づくり企業大賞2016」において、『優秀賞【大企業区分】』を受賞いたしました。

【受賞理由】

弊社グループが行う全社員を対象にした階層別、職能別の研修や環境出前授業、こども農業塾等の環境を通じた社員研修の取り組みが評価されました。また、グループ全体が取り組みの対象であることを踏まえ、【大企業区分】での受賞となりました。



青少年の体験活動推進企業表彰

文部科学省主催「平成27年度青少年の体験活動推進企業表彰」において、
審査委員会奨励賞（中小企業部門）を受賞しました。

【表彰の概要】

企業が社会貢献活動の一環として青少年を対象におこなっている環境保全活動や自然体験活動などの実践事例等を全国に普及するために、平成25年度より始めました。

平成27年度は122事業の応募があり、文部科学大臣賞が2件、審査委員会特別賞が5件、審査委員会奨励賞が26件選ばれています。



第6回「エコプロダクツ大賞」(リヴァックス)

リヴァックスの『期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス』が、第6回エコプロダクツ大賞 エコサービス部門において、エコプロダクツ大賞 審査委員長特別賞（奨励賞）を受賞致しました。

【評価された点】

- これまで廃棄される飲料は分別が難しく、ほとんどが焼却処理されていた中、賞味期限切れや売れ残りなどの缶ジュースなどの飲料を、容器と中身の液体に分離してそれぞれリサイクルする仕組みであり、とくに中身の液体をバイオマス燃料にリサイクルしている。

- 廃棄される飲料の焼却は、一般には燃焼させている火に水を注ぎながら焼却している状態では、膨大な熱量が必要であるが、本システムでは、分別後の液体を効率よく処理するために、乾燥機本体から発生する廃熱を有効利用し、真空度を高めた濃縮装置内で60℃という低沸点下で煮沸し濃縮処理を行い、熱効率の良い前処理を行っている。



「エコプロダクツ大賞」とは



すぐれたエコプロダクツ（環境負荷の低減に配慮した製品・サービス）を表彰することによって、エコプロダクツに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたものです。

<http://www.gef.or.jp/ecoproducts/>



GOOD
HOLDINGS

第7回「日本環境経営大賞」(リヴァックス)

環境・経済・社会的側面における様々な活動が持続可能性の高い経営につながっていると評価され、環境経営部門優秀賞を受賞しました。

(旧社名：大栄サービス)

【主な受賞理由】

- ・ バイオマス燃料化事業
- ・ 2002年度から発行しているCSR報告書などによる情報公開
- ・ NPO法人との協働による小中学校への環境学習の取り組みなど

▼最優秀賞受賞者

環境経営パール大賞 ※環境経営部門の最優秀賞

👑 トヨタ自動車株式会社 堤工場 (愛知県)

👑 速水林業 (三重県)

環境価値創造パール大賞 ※環境価値創造部門の最優秀賞

👑 おひさま進歩エネルギー株式会社
(地域ぐるみの市民共同おひさま発電所・省エネ発電所設置プロジェクト：長野県)

CO2削減パール大賞 ※CO2削減部門の最優秀賞

👑 レンゴー株式会社
(環境負荷の少ない生産体制の構築によるCO2排出削減 (低炭素社会の実現に向けて)：大阪府)





グループでの受賞・顕彰歴(旧社名を含む)

- 2017年度「第21回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門優良賞
(主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)
- 2016年度「環境 人づくり企業大賞2016」優秀賞(主催：環境省、環境人材育成コンソーシアム)
「第20回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門優良賞
- 2015年度「環境 人づくり企業大賞2014」奨励賞
「第19回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門優良賞
「青少年の体験活動推進企業表彰」審査委員会奨励賞(主催：文部科学省)
- 2014年度「第18回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門優良賞
- 2013年度「第17回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門奨励賞
- 2012年度「西宮商工会議所創立70周年記念：環境経営特別賞」
「CSR2プロジェクト」コンプライアンス部門環境省産業廃棄物課長賞
「第16回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門奨励賞
- 2011年度「第15回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」サステナビリティ報告書賞部門優良賞
「西宮市優良事業所顕彰～NISHINOMIYA APPLIED PRIZE～」
- 2010年度「CO2マイナスプロジェクト」生活部門特別賞
- 2009年度「第6回エコプロダクツ大賞」エコサービス部門 エコプロダクツ大賞審査委員長特別賞
「第13回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」サステナビリティ報告書賞部門優良賞
「第13回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」環境報告書賞部門優良賞
- 2008年度「第7回日本環境経営大賞」環境経営部門 環境経営優秀賞
- 2007年度「第11回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門奨励賞
- 2006年度「第4回パートナーシップ大賞」グランプリ・「第10回環境コミュニケーション大賞」他



GOOD
HOLDINGS

人材を創る！



GOOD HOLDINGS

社内ビジネススクールの開講

考える力や考える枠組み(フレームワーク)を学び、自己の視野やスキルアップを図ることを目的に、MBA過程で学ぶ「考える力(クリティカル・シンキング)、経営戦略、マーケティング、会計、財務、**ビジネスプレゼンテーション**」等をスクール形式で実施しています。

このスクールは、東京・大阪でビジネススクールを展開する株グロービスと共同で実施しました。

- 2006年 : 第1期ビジネススクール開校 26名(自由応募)全員が修了
- 2011年 : 第2期ビジネススクール開校 23名(自由応募)全員が修了



2006年6月、全6回の講義を終え、26名全員が修了



2011年5月 第2期ビジネススクールがスタートし、23名全員が修了

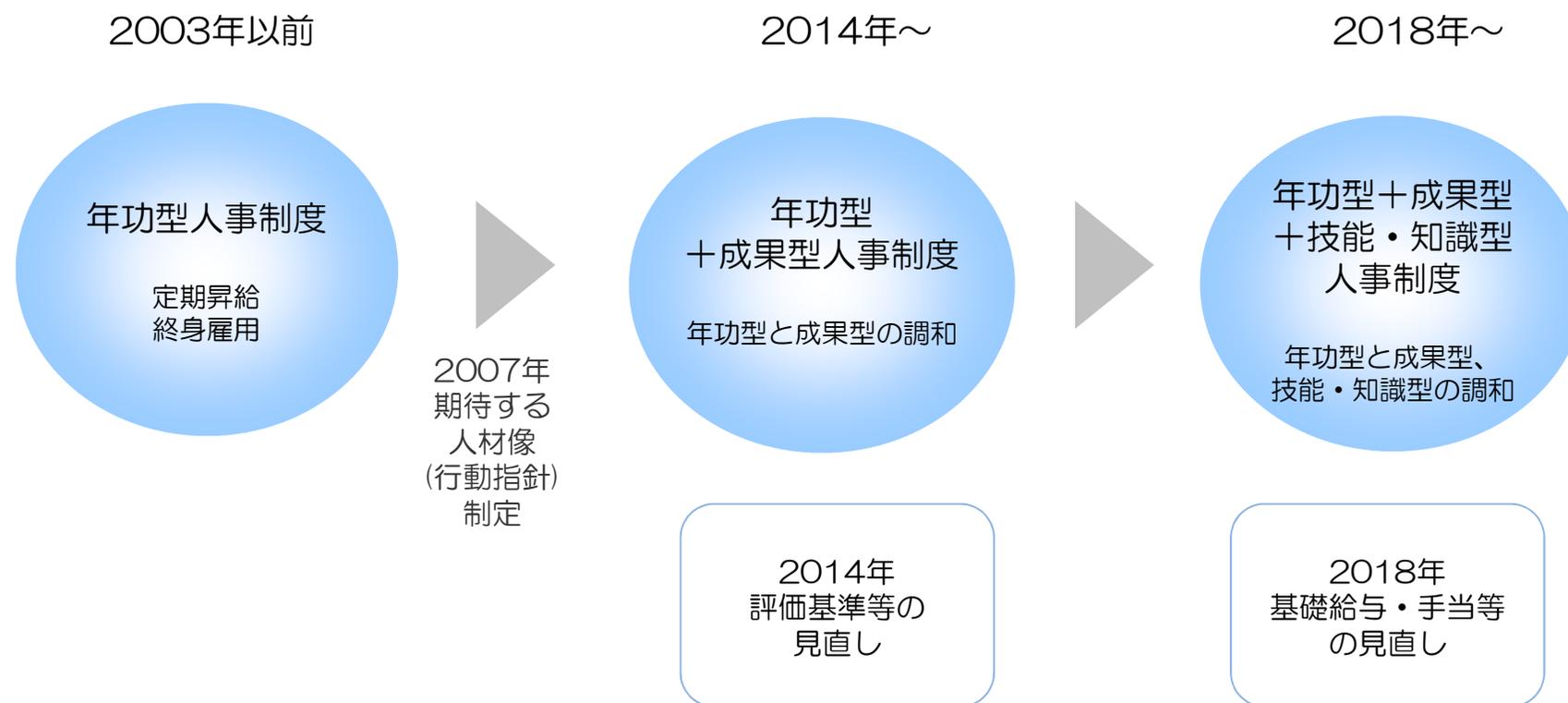


人事制度の改定

経営戦略を実行する社員が安心して働けるように、且つ取り組んだ成果が正当に評価される人事制度を目指し、ブラッシュアップを図っています。2014年度は、新規事業にも対応するべく、各社の人事制度を20年ぶりに改定しました。

2018年は、そこからさらに制度を改定しました。

事業の拡大や従業員の増員にも対応できるよう、時代に適した形に制度の見直しをしています。







GOOD
HOLDINGS

関西初!! 女性だけのごみ収集チーム『さくらチーム』

業界イメージの刷新を図り、女性も働きやすいというイメージを与えたいとの思いから、関西では初となる女性だけのごみ収集チームを発足しました！その名も『さくらチーム』
2017年9月にスタートし、女性だからこそできる繊細で丁寧なサービスを行っています。街全体に一年中桜が咲いているような明るい雰囲気広がっていくことを目指していきます。



毎日放送「ちちんぷいぷい」や
関西テレビ「となりの人間国宝さん」
にご紹介いただきました!!





社内ヨット部(GOOD HOLDINGS Sailing Team)

ブランドや福利厚生の一環ではなく
理念・ミッション、ビジョン、事業の方向性を具現化
(鍛練、創意工夫、力強さ、スピード、戦略・戦術、グローバル)



2016年6月世界選手権（西半球・東洋選手権）出場
於：ブラジル・リオデジャネイロ





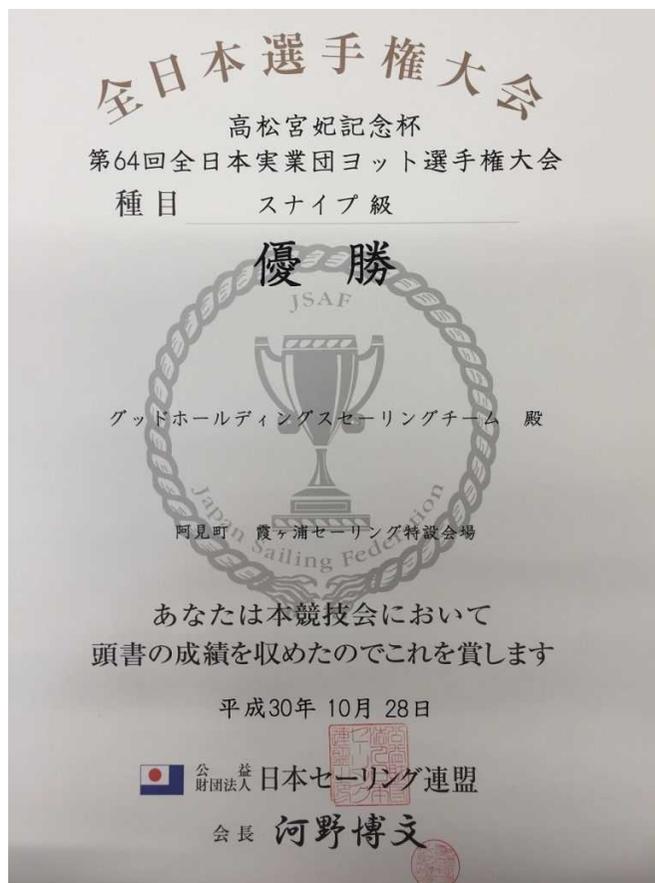
GOOD
HOLDINGS

社内ヨット部(GOOD HOLDINGS Sailing Team)

- 関西実業団ヨット選手権大会(新西宮YH：兵庫県) 総合優勝
(2016年7月23日～24日)
- 国際スナイプ級関西選手権大会(新西宮YH：兵庫県) 1位及び4位
(2016年8月6日～7日)
- 全日本実業団ヨット選手権大会(マリパーク新居浜：愛媛県) 総合3位
(2016年9月17日～19日)
- 関西実業団ヨット選手権大会(新西宮YH：兵庫県) 総合優勝
(2017年7月8日～9日)
- 全日本実業団ヨット選手権大会(若狭和田マリーナ：福井県) 総合4位
(2017年9月8日～10日)
- 関西実業団ヨット選手権大会(新西宮YH：兵庫県) 総合優勝 **4連覇!**
(2018年7月7日～8日)



2018年度全日本実業団ヨット選手権大会優勝！



<http://sailing.goodhd.co.jp>

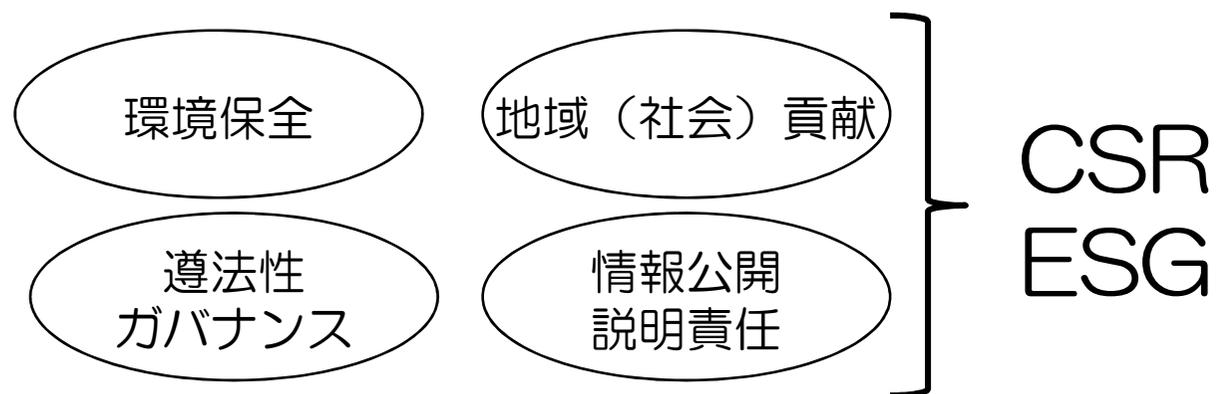


GOOD
HOLDINGS

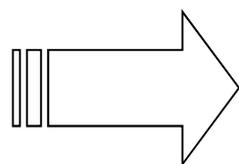
社内ヨット体験試乗会(家族会)



『CSR』 = 『ESG』



“顧客と(地域)社会の満足” と “従業員の満足” の獲得



安心・信頼の獲得





GOOD
HOLDINGS

ご清聴ありがとうございました！